

科目名称：	アウトドア演習	
担当者名：	新井浩、大谷友理、大場新之助	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>今日では、美術分野においても環境・自然・健康といったSDG's的な観点を持つことは、創作の問題意識として大変有効である。</p> <p>白山手取川ジオパークというロケーションの中、豊かな自然を五感で感じ視野を広げるとともに、協働してものごとを達成する体験をし、アウトドア活動に親しむための基礎的知識・技能の習得することを目的とする。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<p>授業計画に沿いオリエンテーション・登山の注意・振り返り以外はすべて学外で行う集中授業となる。5月の週末に白山市鶴来での野外炊飯・白山手取キャニオンロードサイクリング、8月の夏季休暇中に白山登山を実施する。屋内の個別制作が多い美術学科であるが、この演習を通して同級生とコミュニケーションをとり、自然に親しみ、身体的な感性を意識することを目標とする。登山や長距離サイクリングを体験することで、目的を達成する充実感を得てほしい。</p>		

美術学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し、美術を通して様々な価値観を持つ他者との良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(2)	様々な問題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、美術を通して、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	美術の分野において基礎知識を身につけるとともに、専門的な知識や技能を修得し、これらを柔軟に活用し表現していくことができる。	○

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
美術DP(1)					0
美術DP(2)					0
美術DP(3)			50	50	100
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	外部講師 宮下由美子：白山ガイド	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
授業内容・意義の理解（自然・環境・健康と美術）	自然・環境・健康といったテーマと美術的視点について考えが広がる。日常的に実践できる。	能動的に実習に取り組み、自然を楽しむことができる。日常的な意識が芽生える。	能動的に実習に取り組み、自然を楽しむことができる。	受動的な態度であり、取り組みへの関心が低い。
火おこしのスキルと野外炊飯	3種類の方法で火おこしができ、鉄板での調理ができる。	2種類の方法で火おこしができ、鉄板での調理ができる。	1種類の方法で火おこしができ、鉄板での調理ができる。	火おこしができない
サイクリングのマナー	ヘルメットをかぶり、キープレフト、歩道・車道の走り方、並進禁止、すべてを守っている。	キープレフト、歩道・車道の走り方、並進禁止、ヘルメットのうち3つができています。	キープレフト、歩道・車道の走り方、並進禁止、ヘルメットのうち2つができています。	キープレフト、歩道・車道の走り方、並進禁止、ヘルメットのうち1つしかできていない。
登山のマナー	帽子をかぶり、他の登山客への気配り、登り優先、集団行動、のすべてを守っている。	他の登山客への気配り、登り優先、集団行動、帽子着用のうち3つができています。	他の登山客への気配り、登り優先、集団行動、帽子着用のうち2つができています。	他の登山客への気配り、登り優先、集団行動、帽子着用のうち1つができています。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 オリエンテーション	このシラバスを精読しておく。	20分
第2回 アウトドア体験（グループワークでそれぞれの方法で火おこしを実施、違いを共有する）	オリエンテーションで学修した、火おこしの方法を復習しまとめておく。	30分
第3回 アウトドア体験（野外炊飯）	野外炊飯の方法を復習してまとめておく。	15分
第4回 サイクリング（白山青年の家～綿ヶ滝）	サイクリングの注意点を復習しておく。手取キャニオンロードについて事前に調べておく。	30分
第5回 サイクリング（綿ヶ滝～瀬女）	瀬女高原について事前に調べてまとめておく。	15分
第6回 サイクリング（瀬女～綿ヶ滝）	綿ヶ滝とジオパークについて事前に調べてまとめておく。	30分
第7回 サイクリング（綿ヶ滝～白山青年の家）	鳥越の歴史について調べてまとめておく。	30分
第8回 事前研修「登山の注意」	事前配付する、登山の注意点プリントを精読し、要点をまとめておく。	30分
第9回 白山登山（別当出合～甚乃助避難小屋）	「登山の注意」を復習し、まとめておく。	40分
第10回 白山登山（甚乃助避難小屋～室堂ビジターセンター）	白山の植物について復習し、まとめておく。	30分
第11回 白山登山（室堂ビジターセンター泊）	白山登山の歴史を復習しまとめておく。	30分
第12回 白山登山（山頂）	白山信仰について復習しまとめておく。	30分
第13回 白山登山（室堂ビジターセンター～甚乃助避難小屋）	下山についての注意点を復習しまとめておく。	15分
第14回 白山登山（甚乃助避難小屋～別当出合）	白山砂防について復習しまとめておく。	15分
第15回 事後研修「振り返り」	これまでのアウトドア体験について小テストを実施するためすべての復習をしてまとめておく。	60分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、次回までの課題プリント（レポート）をまとめることになる。

成績評価の方法・基準  
 定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。  
 各アウトドア体験の活動状況を50%、提出課題（レポート）を50%として評価する。

課題に対するフィードバック  
 振り返りシートにコメントをつけて返却する。

教科書・参考書  
 教科書は指定しない。各回プリント・課題を配付。